

3・25総決起 動乗勤改悪阻止

方針を決定

☆☆☆☆☆

第8回定期委員会は、三月一四日十時より千葉県教育会館において開催され、「3・25三里塚」を突破口に、三里塚二期阻止、84春闘勝利、内達！動乗勤改悪阻止へむけて闘う方針が満場一致で確認・決定されました。

☆☆☆☆☆

3/4 第8回定期委員会大成功かちとる

3・25三里塚総決起、動乗勤改悪阻止の二本柱で闘おう

— 中野委員長 —

委員会は西森執行委員の司会のもと、議長に永田委員（千葉転）を選出して、議事が進められました。永田議長は「3・25三里塚現地集会へ5割動員を実現させるために本定期委員会を圧倒的に成功させたい」と挨拶し、本部を代表して挨拶に起った中野委員長より、「今日の日本労働運動、国鉄労働運動が最悪の状況を呈しているなかで、『3・25三里塚総決起』と『動乗勤改悪阻止』の二本柱で本委員会を成功させ、84春闘を闘おう」との決意が表明されました。

つづいて、布施書記長から経過報告と「3・25三里塚」―84春闘―内達・動乗勤改悪阻止を中心とする闘う方針が一括して提案され、さらに森内交渉部員より労働協約・協定締結承認について報告をうけて午前中の議事を終了しました。

労農連帯を発展させ三里塚に勝利するため3・25に結集してほしい

— 北原事務局長 —

午後は、冒頭三里塚現地からかけつけられた反対同盟の北原事務局長の連帯の挨拶をうけました。北原氏は「3・8以降一年間が経過しました。脱落していった人達の状況をみれば事態は鮮明になっています。反対同盟は動労千葉と共闘する中で、人間同志がお互いに信じあえる闘いをつくってききました。この労農連帯をさらに発展させ、三里塚闘争の勝利をかちとるために、3・25三里塚現地集会へ全力で結集してほしい」と、心底から決意をこめたあいさつをされました。

「3・25総決起」の発言があいつぐ

質疑は、各支部の委員より、3・25三里塚動員達成にむけた苦闘とみなみなならぬ決意の発言が続きました。おもな意見は、国鉄労働運動における動労「本部」革マルの裏切りと国労中央

の屈服に対する弾劾、さらに総評・社会党の取り組み、指導性の弱さへの批判が出されました。そして、「3・25には一〇〇名を目標に頑張りたい」（幕張支部）

「3・25に七〇名目標に決起する（津田沼支部）」をはじめ、新小岩支部、千葉転支部の委員からも「3・25へ総決起する」との発言があいつぎました。

雪をもとかす3・25決起にむけた熱気

各委員からの質疑をうけた後、本部闘争委員会を代表して中野委員長から、「『3・25へ総決起して、4月上旬、局前総決起集会でうずめつくし、動乗勤改悪を阻止するために総力で決起しよう』との総括答弁をうけて、闘う方針が満場一致、確認・決定されました。

雪がちらつく外の寒さを吹きとばす会場の熱気の中で、委員会の大成功が勝ちとられ、山口副委員長長の閉会のことは、田中青年部長による組合歌唱、中野委員長の団結ガンバリをもって終了しました。



3・25を突破口に、中曾根と当局にむけ国鉄労働者の怒りと底力を叩きつけよう！